

# ウクライナ 3人の使者からメッセージ



## 『子どものすさまじい被害 ナロジチの救済運動』

★ナロジチ中央病院  
マリア・パシュック院長

チェルノブイリ原発事故で一番ひどい汚染地区ウクライナのナロジチ。全員病気だった 34 人の子どもの食品汚染を、日本プロジェクトで 95%以上減らすと、内部被曝の値が下がり、病気が良くなりました。世界初のデータと驚愕の事実を、ナロジチ中央病院マリア・パシュック院長に話していただきます。



## 『1.1 ベクレル /kg の食事で 頭痛—非汚染地域の村』

★ノヴィ・マルチノヴィチ村一般学校  
イーゴリ・ズベンコ校長

100ベクレル/kgまで安全とする基準の下で日本の食品は、流通しています。ウクライナで非汚染地域に強制移住させられたノヴィ・マルチノヴィチ村の食事は 1.1ベクレル/kgなのに、頭痛の人が 7 割も。汚染を減らすと、村民と子どもの健康がどう改善したかを話していただきます。



## 『日本プロジェクト』 という番組をウクライナの TV 局アルタで制作した。

★オレグ・ヤルムリエンコ・ディレクター

★通訳：イーゴリ・オコレロフ

# 子どもを蝕む体内被ばく 31年



【開催地】

【日時】

【場所】

**東京** 7月22日(土) 13:30～ たんぽぽ舎 講演+ウエルカム懇親会  
(千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 4F スペースたんぽぽ TEL.03-3238-9035)

**仙台** 7月23日(日) 14:00～ 仙台弁護士会館  
(主催：日本科学者会議宮城支部…連絡先：小林立雄 090-2369-6186)

**会津若松** 7月26日(水) 18:30～ 稽古堂 (連絡先：五十嵐 0241-22-6926)

**浦和** 7月29日(土) 18:30～ 浦和・パルコ上9階・コミュニティセンター第15集会室

連絡先：食品と暮らしの安全 (048-851-1212)

参加費

(各会場とも) 1000円